

工事番号 令和7年度 加整 第6号

工事名 加太開発整備事業（6号用地）管理用通路等整備工事

工事場所 和歌山市加太外 地内

特記仕様書

和歌山県技術調査課のホームページに掲載している「共通特記仕様書」を特記仕様書とします。

（ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/081100/hikkei/index.html> ）

条件明示書

(和歌山県土地開発公社)

年度 工事番号	令和7年度 加整 第6号	工事名	加太開発整備事業(6号用地)管理用通路等整備工事	発注機関	和歌山県土地開発公社
項目		条件	現場条件	対策など特記事項	
(1)	工程関係	1	工程関係	本件は、コスモパーク加太6号用地の雨水排水施設及び管理用通路の整備工事です。	
(2)	用地関係	1	その他	現場事務所設置場所が必要な場合は、別途相談願います。	
(3)	支障物件関係	1	その他	隣接地に太陽光発電施設があります。 必要に応じて、関係機関との調整等をお願いします。	
(4)	周辺環境	1	その他	関係自治会等へは開発申請時に説明済みですが、施工に際しては、周辺住民等に影響が及ばないよう、留意願います。	
		2	その他	工事中の防塵対策は万全を期してください。	
(5)	安全対策関係	1	保安施設について	当該敷地の入口には現在は門扉があり外部の侵入を防ぐことが出来ていますが、工事期間中、門扉を開けておく必要がある場合には、門扉に代わる侵入防止の対応をお願いします。	
		2	現場内車両通行について	当該敷地内において、現場維持管理業務を行う車両が通行する場合がありますので留意願います。	
		3	防災対策について	工事に伴う濁水対策は万全を期してください。大雨が予想され濁水がコスモパーク加太外へ流出する恐れが懸念された場合には、速やかに対応を行っていただき、その旨を監督員に報告願います。吹付水路の流末は常に確保する必要がありますので、施工に際してはご留意願います。	
(6)	公害対策関係	1	その他	県道粉河加太線を通る工事車両については、以下の事項について、自治会との取り決めになっていきますので、厳守してください。 ①粉河加太線から信号を斜めに入って登り口までの間の片側1車線の道路は時速30km以下で走行すること。 ②登り口から防音壁が終わるまでの区間は、中央分離帯側を走行すること。	
		2	その他	環境対策型機械の積極利用に努めるなどして、環境への配慮をお願いします。	
		3	その他	太陽光発電施設が隣接しているため、粉塵抑制に努めること。	
(7)	品質及び技術管理関係について	1	使用材料について	和歌山市担当職員が現場確認を行う可能性がありますので、材料の搬入日が決定しましたら、事前連絡をお願いします。また、和歌山市担当職員による段階確認を行う可能性もあります。	
		2	除草・伐木及び除根について	現場で発生した草木等については、県指定処分場への搬出をお願いします。	
		3	その他	施工基準及び品質基準につきましては、和歌山県の基準に準じてください。	
(8)	建設副産物対策関係	1	その他	現場で発生した建設副産物については、県指定処分場などへ搬出をお願いします。	
(9)	その他	1	図面・数量について	<u>現場着手前に図面・数量の照査を行い、現場と相違がある場合には、朱書き修正のうえ、監督員に提出してください。事前測量を必ず実施してください。</u>	
		2	設計変更について	最終積算の時期については、当方の都合により、契約期末前1ヶ月とさせていただきます。それまでに、積算に必要な書類(図面・数量計算書など)の提出をお願いします。	
		3	工事記録について	工事完成図書の作成方法は、県県土整備部の作成基準に準じてください。提出部数については、追加の可能性があります。	
		4	その他	切盛土量の調整は、D-NO.29右側の小山の掘削量で調節し土の搬入搬出は基本的には無しでお願いします。	
		5	その他	県道部分を走行するバックホウは、ゴムキャタピラー付きでお願いします。(厳守)	
		6	許認可関係	本件は、特定盛土等規制法(和歌山市)、都市計画法32条(和歌山県)の許可を得た工事であるため、着手届出書、3か月毎の定期報告、完了検査等の必要な手続きがあります。また、県道施工前に施工承認申請をする必要がありますので、資料作成の上、監督員に提出してください。	

※1 特に条件明示のないものについては、「土木請負工事必携Ⅰ、Ⅱ」によるものとする。

※2 対策案については、想定事項を記載。最終は監督職員との協議により決定するものとする。

※3 その他、現場状況により協議が必要な場合は、監督職員に申し出ること。

週休2日工事について

本工事は発注者指定型週休2日工事で、週休2日工事実施要領に基づき「完全週休2日(土日)」の補正係数を計上しており、受注者は「完全週休2日(土日)」の達成に向け取り組むものとする。

また、「完全週休2日(土日)」の取組を行うことが困難な場合においても「月単位の週休2日」の取組は必須とする。

1 週休2日工事

週休2日工事とは、「週休2日工事実施要領」に基づき実施する工事とする。

週休2日工事実施要領

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/081100/syuukyuu2nichi/d00156883.html>

2 週休2日工事の実施状況報告

週休2日工事の実施状況の報告について、「週休2日工事実施要領」の別紙2、実施工程表、工事日誌等により、監督員へ適宜(毎月)提出すること。

3 「完全週休2日(土日)」について

完全週休2日(土日)の取り組みにあたって、受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定する。

土日に代わる現場閉所日を指定する場合は、同一の週で指定し1週間に2日間以上の現場閉所を行うものとする。1週間の定義は、「月曜日から日曜日まで」を基本とする。

災害対応等で土日に代わる代替日の設定が困難であり、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定する。

なお、現場閉所による週休2日の対象外とする期間は、災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。

4 週休2日工事の実施に伴う経費

本工事は「週休2日工事実施要領」に基づき積算しており、達成状況に応じて補正分を減額するものとする。

5 工事成績評定について

「完全週休2日(土日)」が達成された場合は、「週休2日工事実施要領」に基づき和歌山県県土整備部工事成績評定において加点するものとする。

また、「完全週休2日(土日)」対象工事で、初回打合せ時において受注者側に「月単位の週休2日」に取り組む姿勢が明らかに見られなかった場合については、必要に応じ、和歌山県県土整備部工事成績評定にて減点を行う。

6 その他

受注者は週休2日工事の対象工事であることを工事現場内の公衆の見やすいところに掲示するものとする。

また、発注機関の行うアンケートに協力するものとする。